

# 待望の高規格救急車を配備

## 救急救命士4人も配置

救急活動に強力な助っ人登場。「救急救命士」と救命士の活動の舞台となる救急車「高規格救急車」が盛岡中央消防署葛巻分署に配備されました。

誰ももお世話になりたくない「救急車」ですが、ひとりでも多くの命を救うために導入されたもので、今後、町の救命率のアップに多くの期待を集めています。

### 高度救急隊 発隊式で始動

#### 待

望の高規格救急車一台と四人の救急救命士を迎えて四月二日、高度救急隊発隊式が盛岡中央消防署葛巻分署（下村保彦分署長）で行われ、救急業務の新たなスタートを切りました。

配置された高規格救急車は、高度な医療器具や処置器材を備えていて、救急救命士による効果的な救命処置を行うことができます。

発隊式で古館謙護盛岡中央消防署長は、「地域の方々は大きな期待と関心を寄せています。救急救命士は常に自己研さんを積んで信頼に応えてく



本番に向けて手際よい訓練を披露する救急救命士

#### 豆知識 1

高規格救急車……救急救命士が乗車し、心臓や呼吸の停止した人に対して高度な救命処置のできる構造をした救急車です。

#### 豆知識 2

救急救命士……心臓や呼吸が停止した人を救急車で病院に運ぶ間、医師の指示のもとでチューブ等を利用して呼吸のできる状態にすることや、点滴などの救命処置を行うことのできる資格です。今回配置された高規格救急車には、いつでも1人は乗車してしています。



24時間365日、わたしたちの安全と

安心を支えてくれる葛巻分署の救急救員の皆さん

ください」と訓辞。

中村哲雄町長は「活躍してほしい車ですが、高齢化により必要性は増しています。一人でも多くの命を救うため一層の精進をお願いします」と隊員を激励しました。

発隊式後、救急救命士による救命活動がお披露目され、高度な救命処置の知識を持った救急救命士の手際よい訓練に拍手が送られました。

#### インタビュー

### 救命率アップのために

高度救急隊  
前川忠之隊長

### 講習会で応急処置の体験を

あなたの前で、心臓や呼吸が突然止まった人がいたら、まず119番してください。次に救急車が到着するまでに心肺蘇生法を行いAED（自動対外式除細動機）が近くにあればこれを使います。その後、わたしたち救急救命士が高度な救命処置をして病院に向かいます。

「早い119番」「早い応急手当」「早い救急処置」「早い救命医療」この救命のためのリレーのどれ一つが欠けても命を救えるチャンス

は少なくなります。

リレーの最初の二つは居合わせた人「あなた」にかかっています。

そのためにも消防署が開催する「救命講習会」に参加して、ぜひ体験してみましょう。傍観者にならないで、一度練習してみてください。

ちょっとした勇気さえあれば人の命を救う手助けは誰にでもできます。わたしたち救急隊が救命率向上のために講習会等のお手伝いをしますので、活用ください。



- 防振ベット・・・振動を吸収するので、患者さんの負担を和らげます。
- 監視装置・・・心電図や血圧を測定します。
- 心電図伝送装置・・・心電図を病院へ伝送します。
- 人工呼吸器・・・呼吸の回復と酸素を吸入します。
- 電動式吸引器・・・口や鼻

の吐物や血液等を吸引します。

●酸素吸入器・・・呼吸を効果的に維持します。

●衛星携帯電話とファックス・・・携帯電話が通じない場所でも衛星を介しての通話ができます。どこでも連絡ができるため、安心です。

●自動対外式除細動器・・・不整脈によりけいれんした心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機器です。最近では、一般の人でも利用でき、町の総合センターなどにも設

置されています。

#### ●輸液用資器材一式・・・

点滴が必要な患者さんに対して、点滴を行うことのできる設備です。

■価格 車両 20,113,000円  
資器材 18,018,000円

#### ●18年の救急車の動き

出動件数	185件
搬送人数	177人
心肺停止状態の搬送人数	14人

どうなってるの

### 新しい救急車

